

村の話題

9.13 [水曜日] ~ 9.20 [水曜日]

健康な体は口腔衛生から —小中学校で「歯科衛生教室」—

9月13日(水)~20日(水)にかけて、歯科衛生教室を小中全学年で行いました。4年ぶりの開催です。

きれいに磨いているつもりでも、プロスペック歯垢染色液を使用し、染め出してみると真っ赤になる歯にどの子ども驚いていました。また、きれいに磨くには時間がかかることも体験を通して学びました。

健康な体をつくるには、歯磨きは大切なことの1つです。健康な歯でいるために、これからも歯磨きががんばりましょう。



9.24 [日曜日]

学術講演会を開催しました

徳島県立博物館長・鳥居龍蔵記念博物館長の長谷川賢二さんを講師にお招きし、「中世の佐那河内村 勧善寺大般若経が語る地域史」と題しご講演いただきました。

大般若経は地域社会の相貌が知られる豊かな情報源であること、そして特に神山町にある勧善寺の大般若経を取り上げ、佐那河内を含めた地域の実相などについてお話いただきました。大般若経の巻末にある「奥書」には時期、地名、寺社名などが記載されています。嘉慶2年(1388年)の奥書をもつ勧善寺大般若経に「佐那河内主蓮寺」と記されていて、これが本村名「佐那河内」の名が見える最古の史料であること、主蓮寺の場所などの詳細は不明だが、「佐那河内」が周囲の地域社会と緊密な関係があったことなど、興味深いお話を聴くことができました。



次回の学術講演会のお知らせ(本講演会は阿波学会のご後援をいただき実施しています)

日時: 令和5年11月12日(日) 10:00 ~ 12:00

場所: 村役場村民ホール

講師: 中野 真弘さん(阿波学会社寺建築班 建築士 徳島大学非常勤講師)

演題: 「徳島の社寺建築と佐那河内」